



吉川市立東中学校 学校だより

あいさい

<https://www.yoshikawa.ed.jp/higashi-jh>

令和 8 年 9 月号

全校生徒数 280 名
〒342-0017

住所：吉川市上笹塚 3-104-1

TEL：048-982-0244



「3つのカエル🐸」で充実の2学期を

校長 伊東 猛

いよいよ今日から2学期が始まりました。今年の夏も全国的に酷暑で、暑い日がまだまだ続きますが、朝晩には次第に虫の鳴き声が聞こえるようになり、少しずつですが秋の気配を感じるようになりました。夏休み中は、いくつかの運動部が県大会に出場したり、吹奏楽部がコンクールの地区大会に参加したり、日ごろの練習した成果を発揮して健闘してくれました。

2学期は、じっくりと学習や部活動、行事に取り組むことができる「実りの季節」です。学校生活の土台となる日々の「授業」をさらに充実させるため、始業式では生徒たちに「3つのカエル」という話をしました。

1つ目のカエルは、「かんがえる🐸」です。皆さんの頭の中、脳の中は、考えれば考えるほど、脳の中の神経細胞、「頭が良くなる線」がどんどんつながっていきます。授業中真剣に考える人は、普段の生活の中でも「あっ、確か前にやったときには、こうだったから、それを生かしてこうすればいいんだ。」とか、「こうすると失敗しそうだ、だからこうしてみよう。」などと、先を見通して考えることができるようになります。授業中は、じっくり考えて、自分なりの答えを見付けたり、友だちと話し合って自分の考えを深めたり、家でも、本をたくさん読んで、考え方を広げたりしてください。

2つ目のカエルは、「まちがえる🐸」です。授業中や、普段の生活の中で、答えを間違えると、ちょっと恥ずかしいですね。でも、間違えると、その時は恥ずかしいけれど、「正解は何だろう・・・」「どうすればよかったのか」と知りたくなるので、反対にできるようになるのです。ですから、間違えることを恥じる必要は全くありません。むしろ、間違いを積極的に受け入れ、それに向き合う姿勢が重要です。「間違えるのが恥ずかしい」と感じると、次第に挑戦することを恐れるようになり、学びの機会を自ら逃してしまう可能性があります。間違いをすること自体は自然なことであり、学びを深めるための大切なステップです。間違いを「失敗」ではなく、「学びの機会」として捉えることが大切です。間違いをポジティブに捉えることで、次のステップへと進むための道筋が見えてきます。

3つ目のカエルは、「ふりかえる🐸」です。学習の最後に、「自分はこの授業で、どんなことができるようになったのか。」「次は、どんなことをがんばりたいのか。」「生活の中で、今日の学びをどのように生かしていきたいのか。」「などと振り返ると自分が成長していることや、これからやってみることが分かります。だから、勉強がもっと楽しくなるし、できるようにもなります。学習以外でも、振り返ることは大切です。試合結果を振り返る。夏休みを振り返る。様々な振り返りがあります。振り返りは、これからの行動を次の成果につなげるために大切なことです。振り返りをする、改善点を見出せるので、次はさらに目標に近づける行動を起こせます。

2学期は、3年生にとっては進路への実力を蓄える時期、2年生は学校の中核を担う時期、1年生は中学生生活の土台を固める時期です。この「3つのカエル🐸」を合言葉に、教職員一同、生徒一人ひとりの成長を全力で支えてまいります。今学期も、保護者の皆様の変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。